

名前【 】

工場の屋上に立つ三ツ星ベルトの広告塔。2017年12月、神戸市長田区浜添通4（小型無人機で撮影）



復興の目印 解体へ

神戸三ツ星ベルト広告塔

産業用ベルト大手、三ツ星ベルト（神戸市長田区）の広告塔が5月にも解体・撤去されること。14日、関係者への取材で分かった。耐震補強をしたが老朽化は避けられず、近年の台風被害の激化を踏まえて安全を優先させたという。阪神・淡路大震

災では全国から長田区を目指すボランティアの目印にもなったが、61年の歴史に幕を下ろす。鉄骨の広告塔は本社の工場屋上にあり、高さは約40層（地上約55層）。同社が創業40年記念として1959年に設置した。関係者によると、解体・撤去するのは上部24層分で、「三ツ星ベルト」の文字も外す。神戸市が設けた防災行政無線は残す。3月中旬に工事を始め、5月末には終える予定。

同社は19（大正8）年、現本社がある神戸市長田区の真野地区で創業。95年の震災時も工場があり、社員が地域で消火活動に当たったり、体育館を開放し被災者約400人を受け入れた。当時、本社は神戸ハーバーランドにあったが、地元の要望で2000年に同地区へ戻

した。（大島光貴）

（C）神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 三ツ星ベルトの広告塔は現在どこにありますか。

② この広告塔が設置されたのはいつですか。

③ この広告塔はなぜ解体・撤去されることになったのですか。

④ この塔は阪神・淡路大震災のとき、どんなことに役立ちましたか。